

(別紙様式2 ②)

議員報告書

| | |
|-----------|---|
| 1 議員名 | 金行哲昭 |
| 2 期 日 | 令和1年10月16日 ~ 令和1年10月18日 |
| 3 研 修 先 | 京都市上京区島町通 京都平安ホテル |
| 4 内 容 | <ul style="list-style-type: none">◦ 条例制定改廃の事例に基づき法務の科◦ 情報公開・個人情報保護◦ 空き家条例・まちづくり条例 |
| ■研修の目的 | <ul style="list-style-type: none">◦ 条例作成等に関する法務等の専門的知識向上と学ぶ |
| ■概 要 | <ul style="list-style-type: none">◦ 条例制定の法務実務のポイント◦ 情報公開・個人情報保護◦ まちづくり条例等 |
| ■成果または所感等 | <ul style="list-style-type: none">◦ 別紙に記す。 |

法務能力向上のための特別実務セミナー

◎ 森 幸二先生の条例制定改定と事例のポイント

◎ 権利義務と法の根拠

第58条 送券人、投票所の事務に従事する者、
投票所監視する職権を有する者、又は
当該警察官でないが投票に入るに
てその人

◎ 平谷英明先生の情報公開

- ・ 行政運営の透明性の確保
- ・ 国民の知る権利の実現

◎ 空家等対策の特別措置法の概要

特定空家等とは

- ・ 倒壊等若くは火災に危険がある
- ・ 適切な管理が行われていない

措置の実施のための立入調査

指導 → 勧告 → 命令 → 代執行の措置
であり、

まとめ 法務能力向上のための特別実務セミナー

16日 第1日 森幸二先生には

権利義務と法の解釈で法の法学的
考え方、行政組織、財政管理を
色々と理解する。

17日 第2日 大江裕幸先生

窓口対応と国家賠償責任など職員に
教示義務違反があることが考えと学ぶ。

16日 第1日 森幸二先生

法の解釈の適用、条例、規則要綱
法制度の理解。

住民に切に押しごとの進め方で自治
体職員の法学的な姿勢を学ぶ。

18日 第3日 平谷更明先生

国家等対策の推進に関する特別措置法で
は、各市町の条例（参考）を学ぶ。

議員報告書

| | |
|-------|-------------------------------|
| 1 議員名 | 玉井直子 |
| 2 期日 | 令和元年10月30日 ~ 令和元年10月31日 |
| 3 研修先 | 高知ちばさんセンター 高知県高知市布師田3992-2 |
| 4 内容 | 第14回 全国市議会議長会研究フォーラム in 高知 |

■研修の目的
 全国市議会議長会研究フォーラムに参加。

■概要
 第一日目 10月30日 13:00 開会式、13:20 第一部 基調講演 中島兵志 東京大学リベラルアーツ
 「現代政治のマトリクス-リベラル保守という可能性」 東京研究教育院教授
 14:40 第二部 パネルディスカッション
 「議会活性化のための船中八景」 コーディネーター 坪井中平 朝日新聞論説委員
 パネリスト 高部正男 朝日新聞東京研究部長
 榎田肇子 朝日新聞東京政治部長
 古川康造 高知市議会議員
 田鍋剛 高知市議会議長

■成果または所感等
 第二日目 10月31日 9:00 課題討議「議会活性化のための船中八景」
 コーディネーター 坪井中平 朝日新聞論説委員
 事例報告者 滝沢一成 上越市議会議員
 久坂くみ子 鎌倉市議会議長
 小村雄二 岡南市議会議長

基調講演は「現代政治のマトリクス-リベラル保守という可能性」で中島氏から話しを聞く。政治のマトリクス、ラディカルデモクラシーとポピリズム、リベラルの逆説、保守とは何か、について。歴代の首相を例にだし、保守の危機、新自由主義、投票率低下、など大まか視点から講演された。私たちの存在は膨大な過去の蓄積、知的財産の上に成立している。改革とは、過去から相続した、歴史的財産に対する永遠の微調整。パネルディスカッションでは、「議会活性化のための船中八景」ということで、20年後の住民は幸せですか、やりっぱなしにしていけません。若手女性の参加は、などについて、それぞれの立場で話しをされた。そして課題討議では、テーマで見る地方議会アンケートの回答を待て、結果を報告したものと、女性議員のすべからず、議員の片手不足、報酬、議会基本条例など、それぞれの市町の事例など聞いた。行政監視機能、次世代をみる機能(条例等)、テーマを合意して議論、多用途の確保(女性、若者)人を引き入れる、情報公開など、とても役にたつ話しを聞くことができました。

議員報告書

| | |
|---------|--|
| 1 議員名 | 山根 温子 |
| 2 期 日 | 令和元年 10 月 30 日 ~ 令和元年 10 月 31 日 |
| 3 研 修 先 | 高知ちばさんセンター（高知県高知市布師田 3992-2） |
| 4 内 容 | 第 14 回全国市議会議長会 研究フォーラム in 高知 における「現代政治のマトリクス」についての基調講演、「議会活性化のための船中八策」についてのパネルディスカッションと課題討議を研修 |

■研修の目的

議会活性化についての先進事例等を研修し、さらにそれぞれの自治体議会での課題に対する解決に向け参考とするため。

■概 要

(1) 基調講演 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

現代政治を縦軸と横軸において説明し、自民党政権の流れからリベラル保守への可能性を示唆された。

保守するための改革は、永遠の微調整であり、保守の精神は異なる意見にも耳を傾け合意形成を目指すこと、大切なものを守るために変えていく（例：老舗の味も時代とともに微調整されている）。政治は 60 点でなければならない、100 点は共産的である。との言葉は印象的でした。

(2) 議会活性化のための船中八策

1. 行政監視機能の向上を（決算委活用）
2. 次世代を見据えた議論を（未来カルテ）
3. データを踏まえた議論（EBPM）
4. 多様性の確保
5. 地方自治法第 96 条 1 項・2 項を議会から仕掛ける
6. 労働法制を改正（議員になるために）
7. 情報公開（テーマ別意見交換会）
8. 合意形成のための議員間討議

■成果または所感等

まず、議会活性化についての研修との思いは、基調講演における自民党政権のマトリクス分析から始まる政治論に驚くばかりでしたが、マトリクスはわかりやすく、現在はリスクの個人化と父権的なパターンにあるという考え方に、大変な時代に入っていると感じました。これからはリベラル保守へが一つの可能性なのでしょう。

船中八策では、先進的なお話があり、特に未来カルテや EBPM は今後必要とされる取り組みと感じています。

(別紙様式2 ②)

| 議員報告書 | |
|---|---|
| 1 議員名 | 前 重 昌 敬 |
| 2 期 日 | 令和元年 10 月 30 日 ~ 令和元年 10 月 31 日 |
| 3 研 修 先 | 〒781-5101 高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター |
| 4 内 容 | 第 14 回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知 |
| ■研修の目的 安芸高田市議会も含め、他市がどのような議会活性化を行っているか。 | |
| ■概 要 〔1日目〕 1. 基調講演 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授：中島岳志 2. パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」 コーディネーター：坪井ゆづる（毎日新聞論説委員） パネリスト：高部正男（市町村職員中央研究所学長） ：横田響子（株）コラボ代表取締役 ：古川康造（高松丸亀町商店街振興組合知事長） ：田鍋 剛（高知市議会議長） 〔2日目〕 1. 課題討議 「議会活性化のための船中八朔」 コーディネーター：坪井ゆづる（毎日新聞論説委員） 事例報告者：滝沢一成（上越市議会議員） ：久坂くにえ（鎌倉市議会議長） ：小林雄二（周南市議会議長） | |

■成果または所感等

〔参考とすべき事項〕〔1日目〕

1. 基調講演

- 右、左では表しきれない政治のあり方を価値、リスクの母体、基盤としての表し方。
- 上記の表に位置付けした歴代総理大臣（田中、大平、小泉、安倍）。
- 野党の流れ・・・立憲民主党、令和新撰組フィーバー

2. パネルディスカッション

- 早急に検討すべき事項として
 - ①地方自治の日 ②兼職・兼業規制の弾力化 ③議員の厚生年金への加入
- そもそも議会に必要なこと
 - ①20年後の住民は幸せですか？ ②よりっぱなしになってませんか？数字とともにPDCAは？ ③若手、女性の参加は？巻き込んで街を活性化する策は？
- 後に続く、子や孫に、僕たちはこの街に何を残してやれるのだろうか？地域の人々は、地域に対して責任を負う「本気」の覚悟が必要。

〔2日目〕

1. パネルディスカッション

- 市議を目指しやすい環境整備への提言
- 市議を目指すことを阻害する現状の要因など把握し、その改革案を策定
- 議会改革推進こそ、議員を目指す人々を獲得する最大の力

〔提言その他（本市の施策等に活用すべきかなど）〕

- 今回の研究フォーラムでは、各々の議会改革事例、商店街活性化の事例等目的をもって地域住民、コミュニティー、議会等一丸となって活性化を行っている報告があり、安芸高田市も今後人口減少が続く中、後に続く、子や孫に、何をのこしてやれるのか、議員も全員が目指す方向を持ち、20年後の住民が幸せになっているか真剣に考えて活性化策を打ち出していかななくてはならない。
- 現在行っている地域懇談会は、目線を変えれば議会改革の一步であると考え。常に、議会が地域に出向き、地域の声等聴き、意見交換するその姿勢が大事で、市議を目指そうとする人々にもより良い情報等が伝達できるのではないかと思う。

(別紙様式2 ②)

| 議員報告書 | |
|---------------|--|
| 1 議員名 | 山本 優 |
| 2 期 日 | 令和元年 11 ¹⁰ 月30日~31日(泊2日) |
| 3 研 修 先 | 高知県高知市布師田3992-2 高知ちばさんセンター |
| 4 内 容 | 第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知 に参加 |
| ■研修の目的 | |
| 基調講演 | 【現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性】 中島武志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 |
| パネルディスカッション | 【議会活性化のための船中八策】 |
| 課題討議 | 【議会活性化のための船中八策】 についての研修 |
| ■概 要 | |
| 1 基調講演者 | 中島武志の講演 |
| 2 パネルディスカッション | |
| コーディネーター | 坪井ゆづる 氏 朝日新聞論説委員 |
| パネリスト | 高部正男 氏 市町村職員中央研修所学長 |
| | 横田響子 氏 (株)コラポラボ代表取締役 お茶の水女子大学客員准教授 |
| | 古川康造 氏 高松丸亀町商店街振興組合理事長 |
| | 田鍋 剛 氏 高知市議会議長 |
| | による実績と意見発表、議論 |
| 3 課題討議 | 「議会活性化のための船中八策」 |
| コーディネーター | 坪井ゆづる 氏 朝日新聞論説委員 |
| 事例報告者 | 滝沢一成 氏 上越市議会議員 |
| | 久坂くにえ 氏 鎌倉市議会議長 |
| | 田鍋 剛 氏 高知市議会議長 |
| | による、実績とこれからの課題などについて意見発表された |

■成果または所感等

基調講演の主な内容

- ※ 現在の政治状況について、与党として、野党としての立場などについて講演をされた。
- ※ 政治は自分たちのものであるのに投票率の低下は、主権者の意見が出せないという、あきらめの境地になっている。
- ※ 与党、野党は対立軸でなければならぬが明確な軸が無くなっている。
特に自民党と公明党の連合は不思議でもある
- ※ 保守、リベラルというが安定性を求めるのが保守的と言われている。が、保守の原点はリホーム to コンサートである。
- ※ 改革とは過去の実績から時代の変化に合わせて必要なものに変えていく事である
根拠、理由が無いのにすることは改革ではない。“ではの神”であってはならない。

パネルディスカッション

主な意見

- ※ 目の前の事だけでなく、20年後の視点で計画
データをもとに政策立案すること（しっかり調査してデータをとる）、根拠なしに
改革、提案はしないこと
- ※ 若手、女性を巻き込む対策、
- ※ 議員のなり手が無い、女性が少ない、投票率が悪い、興味が無いことの原因
“議会の魅力が無い” 広報でも魅力を持たせるような方法、議会公開だけでは関
心を持たれない
- ※ 女性議員の環境整備の取り組み（産前、産後、育休等について規定がない）
- ※ 市長与党にならないこと。市長と議員は対峙すべき立場である

全体で大きく整理すると次のとおりです

- 1 多面的に行政の監視をする
- 2 未来志向で政策提案（人口減の中、20年30年後を見据えた提案）
- 3 しっかりした根拠あるデータに基づいて審査、計画すること（抽象論、根性論はダメ）
- 4 多様性のある政策。女性、若者などの取り込み
- 5 96条第1項、2項の検討（議会から提案してゆく）

今後は労働法制の見直しが必要となってくる（兼業、兼職等ルール）
執行部に対して情報公開の徹底、資料請求をする
議員間討議をしっかりと活用することが必要

以上の意見、実績、対応について発表、提案があったが

意見交換会、議会基本条例、情報公開等わが市議会ではすでに実施している事項も多々ある。差し当たって必要は無いが、女性議員に対する環境整備が必要、議員間討議が実施されていないので今後徹底するよう皆で考える事が必要
今後一層、市政、議会に関心を持たれるよう努力しなければならないと思う。

(別紙様式2 ②)

議員報告書

| | |
|-----------|--|
| 1 議員名 | 金行哲昭 |
| 2 期 日 | 令和 / 年10月30日 ~ 令和 / 年10月31日 |
| 3 研 修 先 | 東京都中央区 糸橋 1-7-1 戸田ビルディング |
| 4 内 容 | 地方議員研究会 |
| ■研修の目的 | ・初当選議員向けセミナー ・医学博士が教える認知症対策 |
| ■概 要 | ・2年の経験から見ると議員と職員の違い ・認知症と脳についての基礎知識 |
| ■成果または所感等 | ◎ 別紙に記載 |

10月30日～10月31日

宮本正一 (日本公共経営研究代表)
(医学博士)

10/30 初当選議員向けセミナー

。20年の経験から見る、議員と職員
の付き合い方

10/31 医学博士が教える認知症対策講座

。認知症と脳についての基本知識

まとめ・議員と議会の権限の再確認し

(動議提出権、発言権、表決権)

・介護費用と保険料の増大に伴って認知症患者人口
2025年には100万人、5人に1人と言われている。

アルツハイマー病と脳の正体 脳の寿命力向上で
海馬を中心とした脳の委縮、短期記憶力が低下
と前頭葉、側頭葉の委縮の出現と学習。

| 議員報告書 | |
|--|-------------------------|
| 1 議員名 | 菅原 敏治 |
| 2 期 日 | 令和元年10月30日 ~ 令和元年10月31日 |
| 3 研 修 先 | 高知県高知市布師田 3992-2 |
| 4 内 容 | 全国市議会会議長会 研修を-ラムに高知。 |
| ■研修の目的 議会の役割のさらなる充実に目指し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることが目的 | |
| ■概 要 10/30 13:00 開会式 10/30 13:20 基調講演 — 講師 中島 岳雄氏 14:40 パネルディスカッション 10/31 9:00 課題討議 11:00 閉会式 | |
| ■成果または所感等 パネルディスカッション、課題討議で、安芸高田市議会においても共通の課題等があると感じました。又本市議会が実践している所も多々ありと感 じ ました。ありと、今後より一層の研鑽が必要と思うと同時に、議会帯改に努力する事が大事と思いました。 | |

(別紙様式2 ②)

| 議員報告書 | |
|--|---|
| 1 議員名 | 水戸眞悟 |
| 2 期 日 | 令和元年 10月30日 ~ 令和元年 10月31日 |
| 3 研 修 先 | 高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター |
| 4 内 容 | 第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知に参加 |
| ■研修の目的 | |
| 基調講演 | 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志氏 |
| パネルディスカッション | 「議会活性化のための船中八策」 |
| 課題討議 | 「議会活性化のための船中八策」 について聴講研修 |
| ■概 要 | |
| 第1日目 13:00 開会 | |
| (第1部)東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授中島岳志氏による基調講演 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」 | |
| (第2部)パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」 | |
| コーディネーター | 坪井ゆづる 朝日新聞論説委員 |
| パネリスト | 高部 正男 市町村職員中央研修所学長 横田 響子 (株)コラボラボ代表取締役 お茶の水女子大学客員准教授 古川 康造 高松丸亀町商店街振興組合理事長 田部 剛 高知市議会議長 |
| ※今後の自治体議会のあり方などについて体験談からの論議があった。 | |
| (第3部)意見交換会欠席 | |
| 第2日目 9:00 開会 | |
| (第4部)課題討議 「議会活性化のための船中八策」 | |
| コーディネーター | 坪井ゆづる 朝日新聞論説委員 |
| 事例報告者 | 滝沢 一成 上越市議会議員 久坂くにえ 鎌倉市議会議長 小林 雄二 周南市議会議長 |
| ※女性議員・なり手不足・報酬・基本条例などについて論議された。 | |
| (第5部)視察欠席 | |

■成果または所感等

○基調講演について

「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」という講演内容について難解な自分であったが、我が国の過去における政権のそれぞれの立ち位置を、リスクの社会化とその個人化、リベラルとパターナルとの観点から論説されたものであって、保守とは何か、そこには常に永遠の微調整がもとめられるとのことであった。

○パネルディスカッションについて

行政監視機能とその成果・人口減少、外国人増加、災害対応、など地域の将来を見据えた政策論議を進めるための視点とは・候補者男女均等法のもとでのその実態・なり手不足問題にどう対処するか・住民の関心を高めるためになどなどについて論議が進められた。

本市における課題に重複する議論も多くあり、中でもなり手不足の課題や人口減少への対応策については全国的な課題であることを痛感した次第であるが、早急な改善策の発掘までは至らなかったと感じた。

○課題討論について

前日のパネルディスカッションを受けての討議であった。

女性議員・なり手不足・報酬・基本条例などについて論議された。

中でも本市における、なり手不足・報酬の課題については同様の課題と受け止めているが、要するに見える議会・魅せる議会つまり住民協働力、行政との対峙力、立法力、情報収集発信力を兼ね備えた議会。そのためには議会改革の更なる推進こそが議員を目指す人々を獲得する最大の力とまとめられたが、まさに同感として受け止めた。

議員報告書

| | |
|---|------------------------------------|
| 1 議員名 | 先 川 和 幸 |
| 2 期 日 | 令和元年10月30日 ~ 令和元年10月31日 |
| 3 研 修 先 | 高知ちばさんセンター (高知県高知市布師田3992-2) |
| 4 内 容 | 「オ14回全国市議会議長会 研究フォーラム in 高知」に参加 |
| <p>■研修の目的 「現代政治のマトリクスー リベラル保守という可能性」 (基調講演) 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志氏 ①「議会活性化のための船中八策」 に717聴講研修。</p> <p>(10月15日ディスカッション) 課題討議</p> | |
| <p>■概 要 基調講演において 現代政治を縦軸と横軸で説明され、自民党政権の流しからリベラル保守への可能性を示唆された。</p> <p>「議会活性化のための船中八策」</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 行政監視機能の向上 2. 次世代を見据えた議論 3. データを踏えた議論 4. 多用性の確保 5. 地方自治法96条1・2項を議会の任掛 6. 労働法制を改正 7. 情報公開 8. 合意形成のための議員内討議 | |
| <p>■成果または所感等</p> <p>基調講演について、我が国の過去の政権の立場をマトリクス分析により、わかりやすく説明され、今後の方向性を示された事には、初めての事なので参考になった。</p> <p>保守とは何か、... 等には永遠の微調整が求められる政治は60点位が良く100点は共産的である。との事であった。</p> <p>議会活性化のための船中八策については、我が議会に足りない物が多くあるが、こつこつと議員内討議を進め、「唯のための議会」の原点に引き返して行く必要をさらに意を強くした。</p> | |